

平成24年5月15日（火）

標茶町立中茶安別小中学校 「るんるんフォレスト」で森林教室を実施

5月15日（火）、標茶町立中茶安別小中学校春の学校林活動「るんるんフォレスト」が行われ、当センター職員と森林管理署真竜森林官が講師として参加しました。今年度最初の学校林活動は、全校児童生徒30人が、小学生二班、中学生班の3



実のなる木の冬囲い外し

班に分かれて「春の学校林」を題材にして、色々な活動を行いました。

初めに、昨年秋に実施した「実のなる木の冬囲い」を外しました。



ネイチャーゲーム「私の木」

その後、各班に分かれて活動をおこないました。1班（小学2・3年生）は、「るんフォレの木とおともだちになろう！」をテーマにして、学校林の樹木をよく知ってもらうために「私の木」というネイチャーゲームを行いました。これは、森林の中で目隠しをしたまま1本の木を触り、その感触や大きさなどを覚えて、目隠しを取った後でその木を探し出すゲームです。木には樹種ごとにそれぞれ特徴があることを肌で感じ、また、たくさんの木とふれ合ってお友達になったことと思います。

2班（小学4・5・6年生）は、一昨年伐採したカラマツ人工林の切り株を使って、木の成長の仕組みや年輪の形成を学習しました。また、「自分の生まれた年」「家族の思い出」等の年代を、実際に年輪に印付けを行い、家族の歴史と照らし合わせて、学校林の生長を感じていただきました。



年輪に印付けを行う児童たち

3班（中学生）は、若芽を膨らませた学校林を素材にして、極寒の冬をどのように乗り切ってきたのか、早春植物の開花との関係等について予想を立てながら観察を行いました。

今回の活動は、「学校林活動を好きになってもらう」ことをポイントに実施しました。今後、夏・秋の学校林活動に向け、学校と連携して充実した学校林活動に取り組むこととしています。